



平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場会社名 株式会社エイチーム
 コード番号 3662 URL <http://www.a-tm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(氏名) 林 高生
 (氏名) 光岡 昭典

TEL 052-527-3091

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	3,200	18.3	490	340.9	495	340.5	328	480.9
26年7月期第1四半期	2,705	—	111	—	112	—	56	—

(注) 包括利益 27年7月期第1四半期 326百万円 (478.2%) 26年7月期第1四半期 56百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年7月期第1四半期	33.94	33.63
26年7月期第1四半期	5.89	5.79

(注) 当社は平成25年7月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年7月期第1四半期	5,713	4,444	76.3
26年7月期	5,504	4,198	75.1

(参考) 自己資本 27年7月期第1四半期 4,361百万円 26年7月期 4,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成27年7月期の第2四半期末及び期末配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	7,000	20.9	500	4.0	500	1.6	300	12.6	31.01
通期	15,000	24.6	1,700	17.0	1,700	15.6	1,080	33.7	111.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期1Q	9,675,800 株	26年7月期	9,674,600 株
② 期末自己株式数	27年7月期1Q	— 株	26年7月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期1Q	9,675,409 株	26年7月期1Q	9,597,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

国内のインターネットを取り巻く市場は、インターネットの利用者数が平成25年末時点で1億44万人（前年同期比392万人増）に達しており、継続的に拡大を続けております（総務省の平成25年「通信利用動向調査」平成26年6月公表）。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成26年9月末時点で携帯電話契約数は1億4,293万件（前年同月比6.0%増）（社団法人電気通信事業者協会発表）、うちスマートフォン契約数は6,248万件、全体の50.3%と過半数に達しました（MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測」平成26年10月発表）。

このような状況の下、エンターテインメント事業では既存スマートフォンアプリの海外展開に積極的に取り組み、新規グローバル市場向けゲームアプリの開発を加速いたしました。一方、ライフスタイルサポート事業では各サービスの機能やSEO（注）の強化等、ユーザビリティやカスタマーサポートの品質向上に注力しながら、新たな周辺サービスをリリースする等、各サービスの安定的な成長に向けて取り組んでまいりました。

（注）SEOとは、「Search Engine Optimization」の略で、検索エンジンの検索結果として上位表示されやすいようにサイトを最適化することです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,200,914千円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益は490,129千円（前年同四半期比340.9%増）、経常利益は495,634千円（前年同四半期比340.5%増）、四半期純利益は328,409千円（前年同四半期比480.9%増）となりました。

なお、当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業では、スマートフォンアプリの企画・開発・運営、グリー株式会社との協業によるソーシャルゲームの運営を行っております。

スマートフォンアプリにつきましては、主要3タイトルである自社ネイティブアプリ、「ダークサマナー（Dark Summoner）」（ダークファンタジーカードバトルゲーム、平成24年2月にリリース）、「ダービーインパクト」（本格3D競走馬育成ゲーム、平成25年5月にリリース）及び「レギオンウォー（War of Legions）」（リアルタイムバトルRPG、平成25年8月にリリース）が引き続きそれぞれ月商平均1億円超えで推移し、コストを抑えた運用により、利益率の高いタイトルとして寄与いたしました。

また、平成26年10月にリリースした「ダービーインパクト」の繁体字版（香港、台湾、マカオ向け）がリリース直後から香港のiPhone App Store、Google Playにおいてトップセールスランキング上位にランクインする等、好調なスタートとなり、利益率の高い新たな収益源としてセグメント売上・利益の引き上げ要因となりました。「ダービーインパクト」の繁体字版につきましては、パブリッシャーであるGamania Digital Entertainment Co., Ltd.（本社：台湾）より分配される収益を売上として計上しております。

グリー株式会社との協業によるソーシャルゲーム「AKB48ステージファイター」につきましては、これまで同様にグリー株式会社のタイトルとして「GREE」の中で提供され、当社グループはグリー株式会社から分配される収益を売上として計上しております。

平成26年1月に設立した、NHN Entertainment Corporation（本社：韓国）との合弁会社である株式会社Ateam NHN Entertainmentにおいては、引き続きメッセージングプラットフォーム向けタイトルの開発を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,550,669千円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は507,427千円（前年同四半期比216.7%増）となりました。

<ライフスタイルサポート事業>

ライフスタイルサポート事業では、日々のサイトの改善、プロモーション活動などにより順調に利用者を増やし、引越し比較・予約サイト（「引越し侍」）、車査定・車買取サイト（「ナビクル」）は同業他社との競合が激化する中、継続して業界トップクラスのシェアを維持しております。

平成26年4月からの消費税増税後の反動減を受け、「ナビクル」が前四半期連結会計期間（5月-7月）において利用者数が減少傾向にあったものの、当第1四半期連結会計期間では順調に利用者数を増やしてまいりました。「引越し侍」はメディアとしての媒体力を強化しながら着実な運用を継続しつつ、継続して周辺サービスの拡充に注力してまいりました。また、「すぐ婚navi」を中心としたブライダル事業は、全国に展開しているBrides Desk（ブライズ デスク）14店舗のうち、2店舗を閉鎖し、駅地下のインフォメーションカウンターを新たにオープンするなど、店舗配置の最適化を図ってまいりました。さらに、ブランディング強化の為、TVCMを放映し、WEB上で読める結婚に役立つ情報を配信する等、ブライダルメディアとしての媒体力強化に力をいれております。

新たな事業領域でのサービスであるキャッシング・カードローン総合検索サイト「ナビナビキャッシング」は順調に利用者数を増やし、想定を上回る成長となりました。自転車通販サイト「cyma-サイマー」につきましては、プライベートブランド車種の展開や「cyma卸売センター名古屋本店」をオープンする等、様々な施策に取り組みながら利用者数を増やしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,650,245千円（前年同四半期比34.3%増）、セグメント利益は173,437千円（前年同四半期比28.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,713,276千円となり、前連結会計年度に比べ208,690千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少313,010千円があったものの、受取手形及び売掛金の増加166,588千円、投資有価証券の増加316,622千円によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,268,455千円となり、前連結会計年度に比べ37,324千円減少いたしました。これは主に未払金の増加189,064千円があったものの、未払法人税等の減少219,534千円によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,444,820千円となり、前連結会計年度に比べ246,015千円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加231,663千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

引き続き「今から100年続く会社」を目指して、「エンターテインメント事業」と「ライフスタイルサポート事業」をバランスよく伸ばすことで、一定の成長性を確保しながらも経営基盤の安定を図ってまいります。

「エンターテインメント事業」におきましては、収益が緩やかに減少していくことを想定していた既存タイトルが横ばいで推移し、さらに「ダービーインパクト」の繁体字版（香港、台湾、マカオ向け）が計画を上回り、当第1四半期連結会計年度は売上・利益共に予想を上回る着地となりました。一方、一部タイトルのリリース時期の見直し等により、第2四半期連結会計年度は計画を下回る着地となる見込みであります。

また、人員計画において、技術者不足を解消するために積極的な採用活動を継続しておりますが、大幅な人員の増加は想定しておりません。

「ライフスタイルサポート事業」におきましては、引越し比較サイト（「引越し侍」）、車査定・車買取サイト（「ナビクル」）及びキャッシング・カードローン総合検索サイト（「ナビナビキャッシング」）が計画を上回り、当第1四半期連結会計年度は売上・利益共に計画を上回る着地となりました。第2四半期連結会計年度におきましては、それぞれのサービスにおいては計画比で若干の乖離があると予想されるものの、ライフスタイルサポート事業全体を通しては計画通りの着地となる見込みであります。

以上を踏まえた平成27年7月期中間期及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年9月12日発表の連結業績予想と同一になります。

上記の将来に対する記述、連結業績予想数値は本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。エンターテインメント事業においては、グローバル化が進む中、急速に変化するマーケット及び当該資料発表日以降にリリース予定の新規タイトルは不確実性が高いため、業績が大きく乖離する可能性があります。ライフスタイルサポート事業においては、単年度の利益よりも一定のシェアを確保することを重視する点及び競合サービスとの競争激化も勘案し、緩やかな成長を見込んでおります。

平成27年7月期 第2四半期連結累計業績見通し（平成26年8月1日～平成27年1月31日）

売上高	7,000百万円	（前第2四半期連結累計期間比 20.9%増）
営業利益	500百万円	（前第2四半期連結累計期間比 4.0%増）
経常利益	500百万円	（前第2四半期連結累計期間比 1.6%増）
当期純利益	300百万円	（前第2四半期連結累計期間比 12.6%増）

平成27年7月期 通期業績見通し（平成26年8月1日～平成27年7月31日）

売上高	15,000百万円	（前連結会計年度比 24.6%増）
営業利益	1,700百万円	（前連結会計年度比 17.0%増）
経常利益	1,700百万円	（前連結会計年度比 15.6%増）
当期純利益	1,080百万円	（前連結会計年度比 33.7%増）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,217,390	1,904,379
受取手形及び売掛金	1,229,868	1,396,456
有価証券	169,451	176,362
たな卸資産	79,858	122,484
その他	354,765	320,906
貸倒引当金	△17,206	△13,499
流動資産合計	4,034,126	3,907,089
固定資産		
有形固定資産	120,359	110,069
無形固定資産	355,447	398,218
投資その他の資産		
投資有価証券	519,819	836,441
敷金及び保証金	328,355	315,077
その他	151,406	151,368
貸倒引当金	△4,929	△4,988
投資その他の資産合計	994,652	1,297,898
固定資産合計	1,470,459	1,806,186
資産合計	5,504,586	5,713,276
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,337	69,834
未払金	660,431	849,495
未払法人税等	283,055	63,520
販売促進引当金	13,640	14,870
その他	293,315	270,734
流動負債合計	1,305,780	1,268,455
負債合計	1,305,780	1,268,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,797	530,923
資本剰余金	504,597	504,723
利益剰余金	3,094,876	3,326,540
株主資本合計	4,130,271	4,362,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	933	△567
その他の包括利益累計額合計	933	△567
新株予約権	67,600	83,200
純資産合計	4,198,805	4,444,820
負債純資産合計	5,504,586	5,713,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
売上高	2,705,133	3,200,914
売上原価	619,929	521,356
売上総利益	2,085,203	2,679,558
販売費及び一般管理費	1,974,026	2,189,428
営業利益	111,177	490,129
営業外収益		
受取利息	266	5,831
為替差益	881	3,998
その他	295	1,286
営業外収益合計	1,443	11,116
営業外費用		
支払利息	77	60
固定資産除却損	—	4,586
その他	17	963
営業外費用合計	94	5,611
経常利益	112,525	495,634
特別損失		
減損損失	1,845	—
特別損失合計	1,845	—
税金等調整前四半期純利益	110,680	495,634
法人税等	54,144	167,225
少数株主損益調整前四半期純利益	56,536	328,409
四半期純利益	56,536	328,409

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,536	328,409
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	—	△1,500
その他の包括利益合計	—	△1,500
四半期包括利益	56,536	326,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,536	326,909

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,476,319	1,228,814	2,705,133	—	2,705,133
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,476,319	1,228,814	2,705,133	—	2,705,133
セグメント利益又は損失 (△)	160,241	135,185	295,426	△184,249	111,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△184,249千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,550,669	1,650,245	3,200,914	—	3,200,914
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,550,669	1,650,245	3,200,914	—	3,200,914
セグメント利益	507,427	173,437	680,864	△190,735	490,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△190,735千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。